



令和2年3月23日発行 中等新報第45号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

先輩！後に続きます。～13期生が遺したものの～

第13回卒業証書授与式での「送辞」、「答辞」を紹介します。静かな式場に、在校生代表 澁谷さくらさん、卒業生代表 東琳加さんの澄んだ声が響き渡りました。

送辞(抜粋)



13期生の先輩方はとても団結力があり、どの行事においても全員で楽しむという姿はとても印象的でした。部活動においても、私たちに気をかけ、たくさん指導してくださいました。優しく、時に厳しい先輩方は、常に私たちの憧れでした。部活動をとおり、技術の面だけでなく、礼儀や人として大切なことも、先輩方からたくさん教えていただきました。そんな先輩方が部活動を引退し、自分たち後輩が先輩方に支えられていたことにふと気付かされました。

そして月日はあっという間に過ぎ、先輩方が受験生となる一年がやってきました。教務室前廊下の学習スペースは常に満席となり、放課後遅くまで残って受験勉強に励む姿、登下校や昼休みなどのちょっとした時間でも、参考書を開いて勉強している姿から、夢に向かって頑張るという強い意志を感じました。そんな姿を見て、私たち在校生も、先輩方のように努力し、夢を叶えようと思うことができました。

こうして振り返ってみますと、私たちにとって先輩方がとても大きな存在であったことを改めて感じさせられます。先輩方の姿、言葉に何度励まされ、勇気づけられたか分かりません。私たちは、先輩方の後輩でいられたことを心から誇りに思います。今まで本当にありがとうございました。

答辞(抜粋)



「迷ったら苦しい道を行く。」この言葉のとおり、常に挑戦し続け、困難に立ち向かっていける13期生のことが、私は大好きです。みんなと過ごせたこの6年間の思い出は、私の一生の宝物です。6年間、ありがとうございました。

いつも私たちのことを側で見守ってくださった先生方。温かく熱心なご指導をありがとうございました。特に、受験期には、先生方が私たちと真摯に向き合ってくださいましたおかげで、勉強に全力で取り組むことができました。本当にお世話になりました。

保護者の皆様。いつも一番の味方でいてくれたのは、家族でした。時には、強く当たってしまうこともありましたが、いつも私たちを励まし、寄り添い、不安を和らげてくれたことに、とても感謝しています。

ここまで育ててくださり、ありがとうございました。これから、よろしくお祈りします。

6年という時間は長いように思えて、実にあっという間に過ぎていきました。在校生には、この村上中等教育学校で過ごす時間を、一日一日大切にしてほしいです。そして、本校の新たな歴史を切り拓いていってくれることを願っています。

私たちはこれから、それぞれの道で新たな一歩を踏み出します。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773

HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>